
第1回 御堂筋空間利用検討会 議事要旨

1. 日 時 平成21年12月14日（月）14：00～16：00
2. 場 所 大阪市役所（本庁）地下1階 第11会議室
3. 出席者 （別紙参照）
4. 議事次第 1）御堂筋について
2）御堂筋に関する課題及び意見と提言
3）今後の進め方
5. 配付資料 資料-1 御堂筋空間利用検討会設立趣旨（案）
資料-2 御堂筋空間利用検討会規約（案）
資料-3 御堂筋について
資料-4 御堂筋に関する課題及び意見と提言
資料-5 今後の進め方（案）

○意見の概要

〔空間利用の検討に関して〕

- ・ 世界に誇れる風格ある御堂筋の景観整備として、駐停車車両であふれる緩速車線から車を排除して、人を大切に道路空間利用の検討をお願いしたい。
- ・ 御堂筋を歩いて楽しい世界に誇れる通りにしてもらいたい。
- ・ 空間利用の検討を行う場合、幅4.4mの御堂筋の空間だけでなく、もう少し検討範囲を広げ、一皮ぐらい中に入った視点が必要。
- ・ 御堂筋の道路空間の使い方について、これまでの固定観念にとらわれず検討を進めてもらいたい。
- ・ 御堂筋は、地区によって特性が異なり課題も異なることから、全体を同じ形で進めるのは困難であると考えます。
- ・ 緩速車線から自動車交通を排除した場合の交通影響をきちっと把握したうえで、緩速車線をゆとり空間として使えるのか議論する必要がある。
- ・ 交通影響の検討は、ミクロな視点の御堂筋の交通流動だけでなく、もう少しマクロな広域的な視点からの検討も必要である。
- ・ 緩速車線の閉鎖や歩行者天国については、御堂筋だけでなく物流という観点から、全体への影響を考慮し、市民の意見を踏まえ慎重に判断してもらいたい。
- ・ 空間利用の検討にあたり、自転車を都市交通の手段として走行空間や駐輪スペースを無条件に与えるのか、一定の制約を課すのか自転車の位置づけを明確にして議論する必要がある。

- ・御堂筋の道路空間をどのように使うかについて、様々な意見があるが、是非とも実現できるように、この検討会で具体的な提案をまとめていきたい。建設的な意見や提案をどんどん頂きたい。
- ・検討範囲は、御堂筋の難波の高島屋前までを入れてもらいたい。

〔自転車対策に関して〕

- ・御堂筋の放置自転車の即時撤去を行っていることから、一本中に入った通りに放置自転車が非常に多くなり住民が迷惑している。
- ・放置自転車の即時撤去を行っているが、撤去した自転車を持っていく場所がない。保管期間の1ヶ月を短縮すべき。
- ・御堂筋の歩道の植樹帯を撤去して駐輪場を設置してもらいたい。まず、面的な対策をお願いしたい。
- ・歩道の地下空間を活用して駐輪場は設置できないのか。駐輪場を設置せずに自転車を撤去するのはおかしい。
- ・駐輪問題は各地区により特色があるので、各地区毎や目的別、使用者別に分科会やヒアリング等を行い、それらを検討会に諮って議論するという方法が有効ではないか。
- ・御堂筋や商店街で自転車と歩行者の事故が発生している。また、自転車とタクシー等との接触事故も増えてきている。自転車利用者のマナーが悪い。
- ・自転車走行に関して、安全性の問題は緊急性の高い課題であり、歩行者と自転車の分離を早急をお願いしたい。
- ・自転車問題は抜本的な対策として通行規制も考える必要がある。
- ・タクシー乗り場が自転車で埋まっている。駐輪場の整備をお願いしたい。
- ・自転車がが多いのはそれに代わる交通機関がないからではないか。
- ・自転車税を設けて自転車の絶対数を減らすべき。

〔その他〕

- ・歩行者天国を定期的実施してほしい。また、イベントの舞台として使用したい。
- ・御堂筋は右左折時の事故も多い。検討には事故のプロである警察の意見を伺うことが望ましい。
- ・長期的には、御堂筋の地域資源、文化資源を情報発信してソフト面でもPRする事が望ましい。
- ・日本各地、世界における道路空間利用の検討に関する成功事例を紹介してもらいたい。

以上